



先導的な研究への継続的な取組

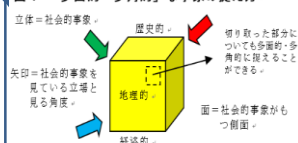
国立教育政策研究所 教育課程研究指定校

学習指導の改善充実及び教育課程の基準の改善に資する調査研究

①教科に係る研究(R元・2年度 H24・25年度)

- 〔国語〕言葉による見方・考え方を働かせ、正確に理解し表現する資質・能力を育成するための指導方法とその評価(R元・2年度)
- 〔音楽〕思考力、判断力、表現力等を育成し、主体的、創造的な学習を実現する指導方法とその評価(R元・2年度)
- 〔社会〕多面的・多角的に考察する力を育む指導と評価(H24・25年度)
- 〔外国語〕積極的に読みを深める態度を育てる工夫(H25年度)
- 〔理科〕科学的に説明する力を育成するための評価(H24年度)

図1「多面的・多角的」な事象の捉え方。



②ESD (平成26・27年度)

- 『持続可能な社会の形成者として必要な
資質・能力の育成』
- ・教科間のつながりを示すカリキュラムマップの作成
 - ・実践事例50件
 - ・カリキュラムマネジメントに有効

③伝統文化教育 (平成29・30年度)

- 『伝統文化教育を中心とした
教科等横断的なカリキュラムの開発』
- ・グローバル社会に生きるために必要な資質・能力の育成
 - ・全ての教科等が協働、連携して行なうカリキュラム開発

【研究成果】

- ①文科省初等中等教育局教育課程課が主管する『中等教育資料⑥ No. 937』の特集「中学校学習指導要領実施上の課題とその改善①」の中で、「多面的・多角的に考察する力を育成するための指導と評価(社会)」として紹介された。また、『中等教育資料③ No. 950』の「外国語 中学校外国語における指導の充実(24) 時数増をどう生かすか」でも紹介された。
- ②『中等教育資料③ No. 970』の特集「ESDの今後の展望」の中で、「ESDを踏まえた教科教育」として紹介された。
- ③『「伝統や文化」に関する教育の性格と教材開発(銀河書籍)』(桃山学院教育大学共同研究 代表 中村 哲 編著)のⅡ章第3節を執筆担当し、本校の伝統文化教育を紹介した。(2019年3月発行)